

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理測定法Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	春名帝亮				
実務経験と その関連資格	特別養護老人ホームにて、臨床心理士として心理検査やカウンセリングの業務を中心に3年間勤務した。その後、大学病院の医局研究員として、心理統計・解析・心理検査・カウンセリングなどの業務に3年従事。並行して、心療内科・精神科のクリニックにて思春期～高齢者の方を対象にカウンセリングや心理検査の業務を中心に2年以上勤務している。また、治験業務を行っており、統合失調症患者や一般群に対しての心理検査業も実施している。臨床心理士資格所持。日本心理臨床学会、日本基礎心理学会に所属。□				
《授業科目における学習内容》					
「こころ」という目に見えない対象を捉えるために、これまで科学的検証が可能になるように様々な心理測定法が考案されています。この講義では、心理学統計・測定法に関する基礎的な内容を取り扱います。前期(心理学測定法Ⅰ)と後期(心理学測定法Ⅱ)を合わせて履修してもらうことで、国家試験問題に対応できる知識の習得を目指します。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験100% 状況により定期試験を期末レポートに変更する可能性があります。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
山田弘幸(編)『言語聴覚士のための心理学』医歯薬出版株式会社、南風原朝和(著)『心理統計学の基礎』有斐閣アルマ					
《授業外における学習方法》					
毎回の講義をまとめておくこと					
《履修に当たっての留意点》					
講義の内容をただ暗記するのではなく、見えない「もの」をいかに科学的検証が可能な形で捉えるのか、そのためにどのような理論や課題が積み上げられてきたのかの理解を目指してください。全体のイメージが掴めれば、心理学測定法が身近に感じることができると思います。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	心理学測定法の概要を理解する。	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」pp94	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション:心理測定法について			
第2回	授業を通じての到達目標	心理物理学的測定法について理解する。	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」pp94-102	
	各コマにおける授業予定	心理物理学的測定法:心理測定の分類、感覚、知覚、認知			
第3回	授業を通じての到達目標	尺度水準、誤差について理解する。	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」pp94-102	
	各コマにおける授業予定	尺度水準、誤差、			
第4回	授業を通じての到達目標	心理物理学的測定法について理解する。	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」pp94-102	
	各コマにおける授業予定	心理物理学的測定法:精神物理学的測定法、調整法、極限法、			
第5回	授業を通じての到達目標	心理物理学的測定法について理解する。	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」pp114-116	
	各コマにおける授業予定	心理物理学的測定法:上下法、恒常法、			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	授業を 通じての 到達目標	心理物理学的測定法を体験する。	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp104-105
	各コマに おける 授業予定	心理物理学的測定法:マグニチュード推定法、信号検出理論		
第 7 回	授業を 通じての 到達目標	心理学研究と統計について理解する。	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp104-116
	各コマに おける 授業予定	統計:妥当性、信頼性		
第 8 回	授業を 通じての 到達目標	全ての講義を振り返る	教科書・資料	小テストに向けて第1回～第7回 までの範囲の復習
	各コマに おける 授業予定	小テスト:第1回～第7回の復習		